

5 : 牛の遺伝性疾患の遺伝子診断のための基礎試料収集

獣医学科 病態獣医学講座 古岡秀文
大動物特殊疾病研究センター 大星健治・山岸則夫

メールアドレス furuoka@obihiro.ac.jp

研究の概要

【目的】 牛の遺伝性疾患はいくつか知られ、その遺伝子解析も進みつつある。今回ホルスタイン牛の遺伝性横隔膜筋症の原因遺伝子が同定されたのを受け、本疾患の十勝地方の浸潤状況の調査を実施するに当たり、当大学畜産フィールド科学センターにおいて飼育されているホルスタイン牛について基礎的試料の収集を実施した。

【方法】 本学飼育ホルスタイン牛全頭の頸静脈より真空採血管にて採血を行い、PCR 法による遺伝子検査を実施した。また、検査結果に基づき系統図を作製した。

【結果】 172 頭のホルスタイン牛より材料を収集したところ、欠損牛1頭および保因牛8頭が見つかった。系統図の解析では1頭の種牛を頂点とする欠損牛及び保因牛からなる特異的な牛群の形成がみられた(下図参照)。未発症欠損牛については今後臨床経過を観察し、臨床病理学的解析を加えていく予定である。

